

カルタヘナ法に基づく第一種使用規程の承認申請について学識経験者の意見の聴取を終えた審査中の案件一覧

(平成27年6月26日現在)

(農作物)

番号	名称及び申請者	学識経験者の 意見聴取 (総合検討会)	パブリックコメント		第一種使用等の主な内容					備考
			開始	終了	隔離ほ場 での試験 等	栽培	食用	飼料 用	観賞 用	
1	除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ワタ (改変 <i>aad-12, pat, Gossypium hirsutum</i> L.) (DAS1910, OECD UI: DAS-81910-7) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	H25.12.2	H26.3.18	H26.4.16			○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)
2	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤アリルオキシアルカノエート系、グルホシネート及びグリホサート耐性ワタ(改変 <i>cry1F, 改変 cry1Ac, 改変 vip3A, pat, 改変 cp4 epsps, 改変 aad-12, Gossypium hirsutum</i> L.) (281 × 3006 × COT102 × MON88913 × DAS1910, OECD UI: DAS-24236-5 × DAS-21023-5 × SYN-IR102-7 × MON-88913-8 × DAS-81910-7) 【ダウ・ケミカル日本株式会社】	H26.12.19	H27.3.23	H27.4.21			○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)
3	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ (<i>mEPSPS, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis)(GA21 × T25, OECD UI: MON-00021-9 × ACS-ZM003-2) 【シンジェンタジャパン株式会社】	H26.12.19	H27.3.23	H27.4.21		○	○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)
4	p-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤及び除草剤グルホシネート耐性ダイズ(改変 <i>avhppd, pat, Glycine max</i> (L.) Merr.) (SYHT0H2, OECD UI: SYN-000H2-5) 【シンジェンタジャパン株式会社、バイエルクロップサイエンス株式会社】	H26.12.19	H27.3.23	H27.4.21		○	○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)
5	除草剤グリホサート及びイソキサフルトール耐性ダイズ (<i>2mepsps, hppd/PW336, Glycine max</i> (L.) Merr.)(FG72, OECD UI: MST-FG072-2) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	H26.12.19	H27.3.23	H27.4.21		○	○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)
6	耐熱性 α -アミラーゼ産生並びにチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ改変 <i>amy797E, 改変 cry1Ab, 改変 cry3Aa2, 改変 cry1F, cry3.1Ab, pat, mEPSPS, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Itis) (3272 × Bt11 × MIR604 × <i>B.t</i> Cry1F maize line 1507 × Event 5307 × GA21, OECD UI: SYN-E3272-5 × SYN-BT011-1 × SYN-IR604-5 × DAS-01507-1 × SYN-05307-1 × MON-00021-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【シンジェンタジャパン株式会社】	H27.2.23	H27.5.12	H27.6.10		○	○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)
7	除草剤グリホサート耐性及び低リグニンアルファルファ(改変 <i>cp4 epsps, CCOMT, Medicago sativa</i> L.) (J101 × KK179, OECD UI: MON-00101-8 × MON-00179-5) 【日本モンサント株式会社】	H27.2.23	H27.5.12	H27.6.10		○	○	○		食品・飼料の 安全性確認が 未了(注)

(注) 当該第一種使用規程の承認については、食品衛生法(昭和22年法律第233号)及び飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律(昭和28年法律第35号)に基づく所要の安全性の確認の審査状況を踏まえて、承認の可否を決定することとしています。